



本建発第 39 号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

本庄市長 吉田信解



中期的な計画の作成に当たっての意見の提出について（回答）

1 国道17号本庄道路の早期整備を要望します。

現状の国道17号線は、県内唯一の、片側1車線区間で、慢性的な交通渋滞が激しく、渋滞損失時間も埼玉県平均の7.5倍となっており、神流川橋交差点は主要渋滞ポイントに指定されています。また渋滞により周辺道路に交通量がふえて、交通事故も県内でも非常に多く発生しています。又、16年3月に開業しました、上越新幹線本庄早稲田駅の駅前には、(独立行政法人)都市再生機構により「職・住・遊・学」の機能を備えた魅力あるまちづくりのため、土地区画整理事業を推進しており、平成25年度末に完了する予定です。

よって、交通渋滞の緩和や本庄地方拠点地域の開発支援等のためにも早期整備を要望します。

2 合併による道路ネットワークの充実を要望します。

本庄市は、平成18年1月10日児玉町と合併し新本庄市として発足いたしました。主な幹線道路は、国道17号、国道254号、国道462号や主要県道が数多くあり道路ネットワークを構成しています。これら地域の道路も未整備区間が多くあり、整備を計画的かつ効率的に推進し、地域間の移動を容易にし、地域の活性化を促進することが重要と考えています。周辺市町村との連絡道路のネットワーク整備の充実を要望します。

3 既設道路の改良について要望します。

交通渋滞解消やスムーズな通行のため、また、障害者や歩行者が安心して通行できるよう、交差点の右折帯の設置、電柱地中化、歩道の新設、バリアフリー化など安全安心な道路整備が望まれます。特に片側1車線道路については、1台の右折車が停車していることにより影響が大きく、交差点

を改良することにより、スムーズな交通や渋滞の解消に有効であります。ほかに国道 462 号の拡幅 4 車線化、歩道の設置等、既存道路・生活道路の計画的な整備促進を要望します。

4 既存道路の維持管理に対する支援を要望します。

安全安心な生活道路は、快適な住環境の基本と考えています。道路の新設とともに既存道路の、特に生活道路の維持管理（舗装改修・側溝改修）は不可欠な事ではありますが、厳しい財政状況となっていますので維持管理に対しても助成制度を要望します。

5 歩車道分離の自転車道の推進を要望します。

環境や健康に良く、近距離の移動手段としては有効な自転車ですが、歩道では歩行者が危険となり、車道では、自転車走行の安全が確保できません。現況では、歩道を歩行者に注意しながら走行していますが、歩道に凹凸があり安全な走行が困難であり早急な改修を図り、安全な快適な自転車道の整備を要望します。

6 今後の道路政策や道路整備・管理について考慮すべき観点は次のとおりと考えます。

- ・ 高次医療施設等への早急・安全なアクセスを可能とする高規格幹線道路の強化・整備
- ・ 交通安全対策や防災対策の推進等住民が安心して暮らせる安全な道路の確保
- ・ 地球温暖化防止等、環境保全に配慮した道路環境の創造
- ・ 高齢者・障害者等の移動に配慮した快適な生活環境の構築
- ・ 活力のある市街地の形成（地域の歴史遺産を生かした魅力ある地域づくり・狭隘道路の解消等）
- ・ 道路・橋梁の長寿命化を図るとともに、管理費用の縮減を実現するための効率的な管理・運営の推進（計画的な修繕・架け替え計画の策定等）